

第五次千葉県障害者計画策定に向けた第1回千葉県障害者施策推進協議会(4月24日)及び第1回千葉県総合支援協議会(4月30日)における袖ヶ浦福祉センターに関する委員の意見抜粋

意見抜粋
<p>袖ヶ浦の事件で特徴的な点が二点ある。</p> <p>一点目、お互い連絡を取り合ったわけではないが、大勢の職員による集団的な虐待が、陰に隠れて継続的に行われていた。</p> <p>二点目、虐待事件があった後も入所者は他の施設に移っていない。他に移れる施設がない。加害者でも施設に残っている職員がいる。双方とも施設に残っている状態。</p> <p>袖ヶ浦だけでなく千葉県の障害福祉全般にわたって検証しなければいけない問題。包括的な検討が必要。</p> <p>検証作業の検討結果はおそらく虐待防止法の改正作業に影響を与える。千葉県のみでなく全国に影響を与える検証が第三者検証委員会で進んでいる。</p>
<p>指定管理者制度が適しているのかどうか検証してほしい。</p> <p>いい人材を集めようとしても、5年後に仕事が残るかどうかわからないところに、どれだけ手を挙げて参画しようとするだろうか。</p>
<p>指定管理者の選定の流れを知りたい。</p> <p>公募の結果、一者のみであった場合は随意契約になるのか。また応募がなかった場合はどうなるのか。</p>
<p>選定基準があるので最低基準に満たなければ契約されない。ただし、事業団側の説明で選定するので現場での確認までは行わない。前回の(袖ヶ浦の)選定の際にも実際には現場で虐待が行われていたと思われるが我々はそれを確認することはできなかった。</p>
<p>① 事件の後、各地で虐待防止の研修会が行われているが、事業者を対象にするものが大半で、当事者の家族に対する研修がない。家族は(障害のある)子どもを預けてしまうと安心する。親の感覚に問題があると感じる。親として教育する責任を自覚してほしいし、親に対する教育も行してほしい。</p> <p>② 指定管理者制度は経費節減のためにしか行われていない。福祉は金がかかるもの。ベテランの職員が暮らしていける給料を出せるようにしてほしい。職員の処遇の改善を望む。</p>
<p>袖ヶ浦に久々に行ってタイムスリップしたような印象を受けた。老朽化して、いかにも隔離した雰囲気。行動障害の人たちにはソフトハード両面で最良の環境を提供しないと落ち着いてもらえないと感じている。職員のスキルや意識の改革も必要だが、ハードの改革も同時にやらないと片手落ち。</p>
<p>今回の事件は全国に波及している。自分が勤めている他県の施設でもその県から「こういうことがないように」と通知が来た。千葉県の評判が下がってしまっている。施設への指導を県当局にはお願いしたい。</p> <p>袖ヶ浦は他に応募がなかったようだが公募はどのような形だったのか。ホームページに載せて終わりではなかったか。</p> <p>事業団の体質から作り直す必要がある。抽象的な計画でなく具体的な計画を作る必要がある。</p>

保護者の立場から。虐待防止のセミナーで保護者の受講が必要というのは感じている。ただ、体の大きな子どもがパニックを起こして自傷行為に走ったときに羽交い締めにしなくてはならないこともある。私も元気なうちはいいが、家でみられない家庭もあると思う。事業団の処分として新規入所の停止が行われているが、保護者も預けて安心している面は反省すべきだが、事件によって受け入れがなくなったり縮小されたりして行き場がなくなってしまうのも心配だ。

袖ヶ浦に関して大胆な具体策を望みたい。

自閉症に関して昔よりは住みやすくなったがそれでも取り残されている。

袖ヶ浦の施設に入った人は、入る前よりはるかに状況が改善されているが、入ったら出られないのが現状。

地域移行関連で移動支援、相談援護、重度の訪問介護、グループホームなど、支援事業があるが、自閉症は、使いづらい状況。事業者からも「難しい人」として敬遠されてしまう。

千葉県発達障害者支援センターは、始めようとしたところで国がたまたま動き出したので全国で最初の事業。

次のような施策を計画のなかに盛り込んではどうかと考える。

以下メモ的に並べる。

- 1 入所施設定員の漸減（既に国の方針であるが、100名を超える施設は100名以下にする）。
- 2 入所施設の開放性（パーソナルサポーターなどの利用）
- 3 計画相談は同じ法人内で行わない。
- 4 入所施設の開放性を高める（たとえばカメラの設置などの検討）。
- 5 同時に入所施設定員の一時的な流動化
袖ヶ浦の定員を他へ移動することも許されないようでは、虐待時の対応ができない。
- 6 グループホーム・ケアホームの設置基準の緩和
- 7 自活障害者世帯の支援
- 8 県庁監査の実質化（無予告、一部監査など）
- 9 県権利擁護関連組織の整理
- 10 強度行動障害者の対応施設（GHなど）の増設

そもそも、入所施設で支援が必要な強度行動障害者とは、誰のことを指しているのか。

そこから検討を進める必要がある。